

第8章 プロジェクト実施にあたっての留意点

8. 1 ブラジル、パラグアイの関係機関との広域協力について

スペイン政府協力による「アロウカリア・プロジェクト」では、ブラジル、パラグアイを含む活動を計画しており、特にパラグアイとの協力を重視している。従って、本案件におけるパラグアイ側関係機関については、プロジェクトの情報収集活動の一環として調査し、関係を模索することが望ましいと考えられる。

ブラジルとの間では、イグアス国立公園間並びに、ミシオネス州政府とリオ・グランデ・ド・スール州政府との間で州立公園間（アルゼンチン側モコナ州立公園、ブラジル側トゥルポ州立公園）の協力が検討されている。アロウカリア・プロジェクトでもこの点の支援が計画されている。本調査では、JICA「イグアス地域自然環境保全計画」において協力関係を築いたブラジル側イグアス国立公園事務所を訪問し、広域協力の可能性について意見交換を行った。同公園¹⁴では、今年度も生態省職員が同公園事務所の企画する環境教育研修に参加するなど、ミシオネス州政府とも良好な関係が続いている。

その結果、アルゼンチンとの関係では、レンジャー制度に関心が示された。ブラジルにはレンジャー制度がなく、イグアス国立公園では州政府に属する軍警察（森林警察）が公園警備を行っている。しかし公園利用者に対して警察権を直接行使することは公園管理上望ましくない点もあることから、レンジャー創設の意見が高まっているとのことである。JICAが実施する第三国研修プロジェクト「レンジャー育成」と連携可能であり、またミシオネス州のレンジャー制度も参考になることから、本プロジェクトを通じて協力の可能性を協議することが望ましい。

また、大西洋岸森林に関する調査研究の資料は大半がブラジルにあり、生態省生物多様性部でも、そこからインターネット等を通じて資料を入手している。ミシオネス州の生物系、林学系出身学生がブラジル側パラナ州の国立・州立大学で修士課程、博士課程を学ぶケースも確認されており¹⁵、生物多様性情報についても、ブラジルとの連携強化は、重要と考えられる。

なお、本案件では隣国との広域協力と限定した活動はないが、活動 1-4 に「公立・私立の科学・教育機関との間で、協力体制を確立する。」とあり、その一環としてブラジル側関係機関との協力体制を確立するための活動はできると判断される。

¹⁴ ブラジルの国立公園は、これまでブラジル環境再生資源天然資源院（IBAMA）の管轄であったが、2007年度にIBAMAの組織改正が行われ、シコ・メンデス院（Instituto Chico Mendes）の管轄となっている。

¹⁵ 例えば、JICA「イグアス地域自然環境保全計画」の2004年度自然環境調査参加者のうち2名はミシオネス州出身でブラジル国パラナ州の大学院で学ぶ学生研究員。航空写真を撮影した国立ミシオネス大学教員もパラナ連邦大学出身。

8. 2 イグアス地域における国際援助機関、NGOとの活動調整について

イグアス地域における国際援助機関の活動としては、カナダのCIDAとスペインのAECIがある。このうちCIDAの協力は、カナダのナイアガラ・カレッジとプエルト・イグアス市にあるイグアス技術学校（観光専門学校）の協力を支援するもので、本案件との直接の接点はない。イグアス国立公園についてはUNESCOもワークショップ開催などイベント的に支援をしているが、通常は関係しない。

一方、AECIの協力は、国立公園局と生態省をカウンターパート機関とし、2006年から2011年まで5年間実施が予定されていることから、本案件と直接関係する。その目標は、「環境サービスと富の公正な分配、自然・文化資源の保全を通じてアルゼンチン、ブラジル、パラグアイの統合過程（連携）を強化し、それによってパラナ密林生態地域における地域住民の生計向上」で、9つの成果から成り立っている。特に対象地域のほとんどがミシオネス州グリーンコリドー（緑の回廊）と重なるため、活動調整は不可欠となっている。

また、このプロジェクトの資金の一部はスペイン本国からNGO経由で活動資金が提供されてくるため、アロウカリア・プロジェクトの名の下、政府の動きとは別に、スペインのNGO経由で資金提供を受ける地元環境NGOのFVSAが様々な分野に関与している。

アロウカリア・プロジェクト並びにFVSAの事務所はプエルト・イグアス市内にあるため、ポサーダス市にある生態省本部とは日常的な情報交換が困難であるが、緊密な情報交換は不可欠である。

なお、本調査においてアロウカリア・プロジェクトのAECIコーディネーター及び国立公園局代表コーディネーターと協議したところ、いずれもJICAとの協力・協調を望んでいることが確認された。一方、生態省側コーディネーターはグリーンコリドー特別代表であるが、本案件の直接の実施部局となる生態庁とは省内での命令系統が異なる。まずは省内の調整が必要となっている。

8. 3 「イグアス地域自然環境保全プロジェクト」のフォローアップの必要性について

本調査時点で、当時のカウンターパートの若干の人事異動はあったものの、概ね活動は継続されていることが確認できた。パイロット事業として建設された「エコロッジ・カブレイ」も、セルバ・アデントロ観光サービス組合を中心に、営業活動を継続しており、施設の改善も確認された。また、この施設を州政府によるエコツーリズムの研修センターに位置付ける提案もあり、ミシオネス州におけるモデルとしての役割が期待されている。

また、ウルグアイ州立公園ウルス事務所には、2007年6月頃からビジターセンターの建設が始まり、観光客受け入れの体制作りが進んでいる。JICAから供与された視聴覚機材も、このビジターセンターで活用される予定である。

このように、全体としてはプロジェクト終了後も持続発展方向にあるものの、同プロジェクトで実施された情報共有や環境教育については、プロジェクト対象地域内だけで情報が留まっており、その成果が生態省本省職員まで十分に伝わっていないことが明らかとなった。理由は、組織変更に伴う人事異動もあるが、基本的に生態省本部と地方事務所の間で、情報伝達・集中化の仕組みが欠けていることが問題である。この問題点は本案件でも指摘されており、活動に盛り込まれている。

このような状況を踏まえつつ、日本の技術的優位性を強調し、アロウカリア・プロジェクトとの役割分担を明確にするため、アンドレシート市における生物多様性情報の収集整理、そのためのエコロジックの利用促進（研修の開催）が有効である。またアンドレシート市役所にはシニア海外ボランティア 1 名が国立公園バッファーゾーン管理として活動しており、かなり多くの昆虫情報を蓄積しつつある。特にその写真は観光客からも喜ばれている。これらの活動、経験は、プエルト・ペニンスラ州立公園における環境教育活動でも応用可能と思われる。

8. 4 投入について

必要な機材、資材の詳細は、スペイン政府による支援、生態省の 2008 年度予算状況を考慮して決定する。但し通信手段にかかる機材は、安全対策面でも重要であることから、早急に対策を講じる必要がある。ワークショップやセミナーなど研修開催に必要な経費についても、スペイン政府、ミシオネス州政府との間で今後協議すべき課題である。

生態省一般職員の勤務時間は 06:30-12:30 で、州立保護区レンジャーは 15 日交代と変則的である。その上、本案件の対象地域がミシオネス州全域に及ぶため、効率的にプロジェクトを運営するため、日本側の負担によりローカルコーディネーターを配置する。その配属先は、プロジェクトダイレクター、コーディネーターと日常的なコミュニケーションが取れるよう、ポサーダス市の生態省本省とする。そのために必要なスペースの確保は約束されている。但し、生態省本省のスペースが極めて狭く、家具類も劣悪なものが多いため、事務スペースの確保、改善については協議すべきと考えられる。

またローカルコーディネーターがプエルト・イグアスに常駐する AECI コーディネーターとの援助協調に係る協議、情報交換ができるよう、必要な経費も必要と考えられる。

本案件ではインターネットの活用は不可欠であるが、生態省本省内の通信速度は遅く、情報検索、ダウンロード、アップロードがスムーズではない。従って、必要に応じてインターネット環境の改善も、協議すべきと考えられる。

別 添

1. ワークショップにおける問題分析結果
2. ミニッツ（英語）
3. ミニッツ（西語）
4. 関連報道記事

**MINUTES OF MEETING BETWEEN
JAPANESE PREPARATORY STUDY TEAM AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE ARGENTINE REPUBLIC
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE PROJECT TO STRENGTHENING CAPACITIES IN BIODIVERSITY
CONSERVATION OF THE INTERIOR ATLANTIC FOREST**

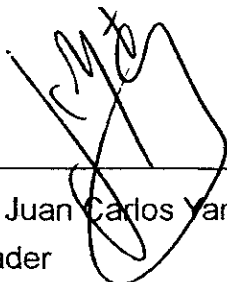
The Japanese Preparatory Study Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), visited the Argentine Republic from November 19, 2007 to December 4, 2007 for the purpose of working out the details of the technical cooperation concerning "The Project to Strengthening Capacities in Biodiversity Conservation of the Interior Atlantic Forest" (hereinafter referred to as "the Project") in the Argentine Republic.

During its stay in Argentine Republic, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Argentine authorities concerned with respect to desirable measures to be taken by JICA and Argentine Government for the successful implementation of the Project.

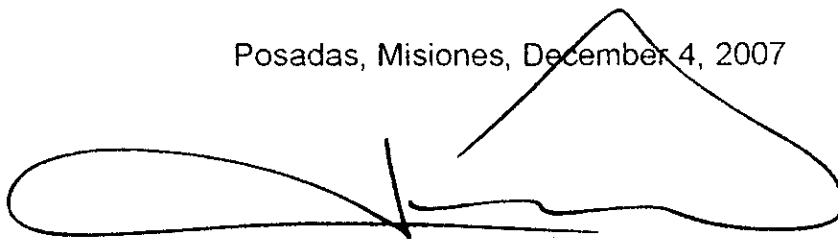
As a result of the discussions, and in accordance with the provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of Argentine Republic signed in Tokyo on October 11, 1979 (hereinafter referred to as "the Agreement") the Team and the Argentine authorities concerned agreed on the matters referred to in the document attached hereto, and agreed to recommend this to their respective Governments.

Done in duplicate in Spanish and English, each text being equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Posadas, Misiones, December 4, 2007



Mr. Juan Carlos Yamamoto
Leader
Preparatory Study Team
Japan International Cooperation
Agency (JICA)
Japan



Mr. Luis A. Jacobo
Minister
Ministry of Ecology, Renewable
Natural Resources and Tourism,
Province of Misiones
Argentine Republic

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN JICA AND THE MINISTRY OF ECOLOGY, RENEWABLE NATURAL RESOURCES AND TOURISM, MISIONES PROVINCE

1. Ministry of Ecology, Renewable Natural Resources and Tourism, Misiones Province of the Argentine Republic (hereinafter referred to as "the Ministry") will implement the Project in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Project Design Matrix (hereinafter referred to as "PDM") which is given in Annex I. The tentative plan of operation is shown in Annex II.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provisions of Article III of the Agreement, JICA as the executing agency for technical cooperation by the Government of Japan, will take, at its own expense, the following measures according to the normal procedures of its technical cooperation scheme.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

JICA will provide the services of the Japanese experts as listed in Annex III. The provisions of Article IX of the Agreement will be applied to the above-mentioned experts.

Both sides confirmed that the official request to assign Japanese experts for the term of technical cooperation will be submitted by the Ministry.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide machinery, equipment and other materials necessary for the implementation of the Project. The provision of Article VII of the Agreement will be applied to the Equipment.

Both sides confirmed that the official request form for provision of equipment will be submitted by the Ministry.

3. TRAINING OF ARGENTINE COUNTERPART PERSONNEL IN JAPAN

JICA will receive Argentine counterpart personnel connected with the Project for technical training in Japan.

Both sides confirmed that the official request for training in Japan will be submitted

by the Ministry.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE MINISTRY

1. The Ministry will take necessary measures to ensure that self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. The Ministry will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Argentine nationals as a result of Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Argentine Republic.
3. In accordance with the provisions of Article V, VI, VIII of the Agreement, the Government of Argentine Republic will grant in Argentine Republic privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. In accordance with the provisions of Article VII of the Agreement, the Ministry will take the necessary measures to receive and use the Equipment provided by JICA under II-2 above and equipment, machinery and materials carried in by the Japanese experts referred to in II-1 above.
5. The Ministry will take the necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Argentine counterpart personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the provisions of Article V-(e)-(f) of the Agreement, the Ministry will provide the services of Argentine counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex IV.
7. In accordance with the provisions of Article V-(a)-(b) of the Agreement, the Ministry will provide the land, buildings and facilities necessary for the implementation of the Project.
8. In accordance with the laws and regulations in force in the Argentine Republic, the Ministry will take the necessary measures to supply or replace, at its own expense, machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other

necessary materials for the implementation of the Project other than the Equipment provided by JICA II-2 above.

9. In accordance with the laws and regulations in force in the Argentine Republic, the Ministry will take the necessary measures to meet the running expenses necessary for the implementation of the Project.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Undersecretary of Ecology and Sustainable Development of the Ministry as the Project Director will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. The General Director of Ecology and Environmental Quality of the Ministry as the Project Coordinator will be responsible for the technical matters of the Project.
3. The Japanese Team Leader will provide the necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Coordinator on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will give the necessary technical guidance and advice to the Argentine counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in Annex V.

V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by JICA and the Argentine authorities concerned, in the middle and in the last 6 (six) months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

VI. CLAIM AGAINST JAPANESE EXPERTS

In accordance with the provision of Article VIII of the agreement, the Ministry undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Argentine Republic except for the those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between JICA and the Argentine authorities concerned on major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of Argentine Republic, the Ministry will take the appropriate measures to make the Project widely known to the people of Argentine Republic.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project will be three (3) years.

LIST OF ANNEX

| | |
|-----------|--|
| ANNEX I | TENTATIVE PDM |
| ANNEX II | TENTATIVE PLAN OF OPERATION |
| ANNEX III | LIST OF JAPANESE EXPERT |
| ANNEX IV | LIST OF ARGENTINE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL |
| ANNEX V | JOINT COORDINATING COMMITTEE |
| ANNEX VI | WORKING GROUPS (TENTATIVE) |

ANNEX VII LIST OF BUILDINGS AND FACILITIES
ANNEX VIII LIST OF EQUIPMENTS
ANNEX IX R/D (DRAFT)

6



ANNEX I TENTATIVE PDM

Title of the Project: Project to Strengthening Capacities in Biodiversity Conservation of the Interior Atlantic Forest
 Project Site: Province of Misiones, Argentine Republic
 Target Group: Personnel from Ministry of Ecology, Renewable Natural Resources and Tourism (MERNRYT), Province of Misiones

PDM Version: 0
 Date: November 30, 2007
 Duration: Three (3) years

| NARRATIVE SUMMARY | OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS | MEANS OF VERIFICATION | IMPORTANT ASSUMPTIONS |
|--|---|--|--|
| <p><OVERALL GOAL> The capacities of management on biodiversity of the Interior Atlantic Forest are strengthened</p> | <p>Number of programs implemented in the framework of the Provincial Strategy of Biodiversity</p> | <p>Report of the Programs.</p> | |
| <p><PROJECT PURPOSE> The Ministry of Ecology, Renewable Natural Resources and Tourism is strengthened as a producer and provider institution of biodiversity information of the Province of Misiones.</p> | <p>The Biodiversity Information System implemented at the end of the Project</p> | <p>- Final report of the Project - Interviews.</p> | <p>Information provided by the project is incorporated in political decisions.</p> |
| <p><OUTPUTS> 1. Capacities for generation, compilation and organization of information on biodiversity are improved. 2. Capacities for access to information about biodiversity are improved. 3. Capacities for environmental education activities are improved.</p> | <p>1.1. Number of dependencies that send field forms. 1.2. Number of qualified personnel. 1.3. Number of meetings with training purposes. 1.4. Number of formal agreements signed with other institutions. 2.1. Number of people who received information on biodiversity. 3.2. Number of educational meetings held within the pilot area.</p> | <p>- Statistics of the information received. - Progress report of the Project. - Interviews.</p> | <p>- Qualified personnel continue to working in the institution. - Developed Skills are accepted by political authorities.</p> |
| <p>ACTIVITIES 1.1. Adapt the software for the database. 1.2. Create an explicit and centralized circuit of information. 1.3. Create the database. 1.4. Establish links of cooperation with scientific and educational, public and private institutions. 1.5. Provide training to the personnel of the institution on generation, compilation and organization of information. 1.6. Evaluate and monitor of the training program. 2.1. Determine the strategic points (such as local offices of MERNRYT) to access to the information. 2.2. Reach an agreement on the way to disseminate the information. 2.3. Provide a communication system to the strategic points and natural protected areas. 2.4. Provide training on the use of the database (ways of access) 2.5. Carry out evaluation and monitoring of the training program. 3.1. Review and adequate the program of environmental education based on the biodiversity information. 3.2. Provide training to the personnel on environmental education activities 3.3. Carry out environmental education activities in Puerto Peninsula Provincial Park as a pilot experience. 3.4. Carry out evaluation and monitoring of the environmental education activities.</p> | <p>ARGENTINA (1) Personnel of the Project 1) Director: Undersecretary of Ecology and Sustainable Development. 2) Coordinator: General Director of Ecology and Environmental Quality 3) Counterpart Personnel: a. Personnel from the Direction of Natural Protected Areas. b. Personnel from the Direction of Biodiversity. c. Personnel from the Department of Environmental Education. (2) Facilities, fields, services and necessary buildings, machinery equipments, instruments, transport, tools, replacements and any other necessary material (3) Others: administrative personnel, and necessary administrative and maintenance expenses.</p> | <p>JAPAN (1) Experts (Short Term) Experts on the following fields will be sent: - Biodiversity Information System - Natural Protected Areas Management - Environmental education. (2) Equipment and necessary materials. (3) Technical training in Japan (4) Local administrative coordinator</p> | <p>- Counterpart personnel continue working in the activities of the project. - MERNRYT will keep on granting the budget assigned for the activities of the project</p> <p>PREVIOUS CONDITIONS Situational Diagnosis of involved areas.</p> |

ANNEX III LIST OF JAPANESE EXPERT

The short-term experts in the following specialties will be dispatched.

- Biodiversity Information System
- Natural Protected Areas Management
- Environmental Education; and
- Other specialties areas accorded by the Project

In addition JICA will dispose a local administrative coordinator aiming to an efficient Project implementation.

9

ANNEX IV LIST OF ARGENTINE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Project administrative management counterpart
 - (1) Project Director
Undersecretary of Ecology and Sustainable Development of the Ministry
 - (2) Project Coordinator
General Director of Ecology and Environmental Quality of the Ministry
2. Technical Counterpart
 - (1) Personnel of the Direction of Biodiversity
 - (2) Personnel of the Direction of Natural Protected Area
 - (3) Personnel of the Department of Environmental Education
3. Other personnel will be assigned if necessary.



ANNEX V JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Functions

The Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") will meet at least once a year and whenever the necessity arises, in order to fulfill the following functions:

- (1) To approve an annual work plan of the Project based on the Plan of Operation within the framework of the R/D;
- (2) To monitor and review the overall progress of the Project carried out under the above-mentioned annual work plan;
- (3) To exchange views and ideas on major issues those arise during the implementation of the Project; and
- (4) Other relevant themes related with implementation of the Project.

2. Composition

The JCC will be composed of the chair, the member and the observers. The rules and guidelines for the management of the JCC will be determined at the initial stage of the Project.

- (1) Chairperson
 - Minister of the Ministry
- (2) Argentine side
 - The Undersecretary of Ecology and Sustainable Development of the Ministry
 - The General Director of Ecology and Environmental Quality of the Ministry
 - The General Director of Ecological Park "El Puma" of the Ministry
- (3) Japanese side
 - JICA Expert (s) of the Project
 - Representative from JICA Argentine Office
- (4) Observers
 - Official(s) of Embassy of Japan
 - Official(s) of the Ministry of Foreign Affairs of Argentine
 - Coordinator of the Green Corridor Special Unit

Note: Chairperson can name new member or request the attendance of other participants, as necessary, upon agreement of the JCC.

ANNEX VI WORKING GROUPS (TENTATIVE)

1. Functions

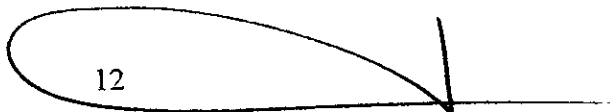
Working groups will be conformed by the institutions of both countries and will have to:

- (1) coordinate the planning, implementation, monitoring and other matters related to the activities of the Project in order to obtain the best outputs and,
- (2) elaborate operation plans and progress and monitoring reports to be reviewed and approved by the Joint Coordinating Committee.

2. Conformation

Working groups will be conformed by:

- (1) For Outputs 1 and 2
The Direction of Biodiversity, the Direction of Natural Protected Areas.
- (2) For Output 3
The Department of Environmental Education, the Direction of Biodiversity and the Direction of Natural Protected Areas.



ANNEX VII LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

1. Office and necessary facilities for the Japanese experts and local administrative coordinator.
2. Necessary places for installation and storehouse of equipments.
3. Electricity, air conditioning, water provision and the necessary facilities of telecommunications, including phone and fax.
4. Necessary land and other facilities for the implementation of the Project.



ANNEX VIII LIST OF EQUIPMENTS

Equipments, tools, materials and their spare parts necessary for the implementation of the activities described in the Master Plan.



RECORD OF DISCUSSION BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE ARGENTINE REPUBLIC ON THE
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE PROJECT TO STRENGTHENING CAPACITIES IN BIODIVERSITY
CONSERVATION OF THE INTERIOR ATLANTIC FOREST

The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), through its Resident Representative of JICA Argentine Office exchanged views and had a series of discussions with the Argentine authorities concerned with respect to desirable measures to be taken by JICA and Argentine Governments for the successful implementation of the Project to Strengthening Capacities in Biodiversity Conservation of the Interior Atlantic Forest.

As a result of the discussions, in accordance with the provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of the Argentine Republic, signed in Tokyo on October 11, 1979 (hereinafter referred to as "the Agreement"), the Resident Representative of JICA Argentine office and the Argentine authorities concerned agreed on the matters referred to in the document attached hereto.

Done in duplicate in Spanish and English, each text being equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Posadas, Misiones, XX X, 200X

Mr. Toshiaki FURUYA
Resident Representative
Argentine Office
Japan International Cooperation Agency
Japan

Mr. Maurice CLOSS
Governor
Misiones Province
Argentine Republic

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of the Argentine Republic will implement the Project to Strengthening Capacities in Biodiversity Conservation of the Interior Atlantic Forest. (hereinafter referred to as "the Project") in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provisions of Article III of the Agreement, JICA as the executing agency for technical cooperation by the Government of Japan, will take, at its own expense, the following measures according to the normal procedures of its technical cooperation scheme.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

JICA will provide the services of the Japanese experts as listed in Annex II. The provision of Article IX of the Agreement will be applied to the above-mentioned experts.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III. The provision of Article VII of the Agreement will be applied to the Equipment.

3. TRAINING OF ARGENTINE COUNTERPART PERSONNEL IN JAPAN

JICA will receive the Argentine personnel connected with the Project for technical training in Japan.

Both sides confirmed that the official request for training in Japan will be submitted by the Ministry.

expense machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other necessary materials for the implementation of the Project other than the Equipment provided by JICA under II-2 above.

9. In accordance with the laws and regulations in force in the Argentine Republic, the Argentinean side will take the necessary measures to meet the running expenses necessary for the implementation of the Project.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Undersecretary of Ecology and Sustainable Development, as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. The General Director of Ecology and Environmental Quality will bear overall responsibility for the coordination and technical matters of the Project.
3. The Japanese Experts will provide the necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Coordinator on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to Argentine counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in annex VI.

V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by JICA and the Argentine authorities concerned, in the middle and in the last 6 (six) months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

In accordance with the provision of Article VIII of the Agreement, the Government of the Argentine Republic undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Argentine Republic except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between JICA and Argentine Government on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of Argentina, the Government of the Argentine Republic will take the appropriate measures to make the Project widely known to the people of the Argentine Republic.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be three (3) years from XX X, 200X.

ANNEX

- | | |
|-----------|---------------------------------|
| ANNEX I | MASTER PLAN |
| ANNEX II | LIST OF JAPANESE EXPERTS |
| ANNEX III | LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT |

| | |
|------------|--|
| ANNEX IV | LIST OF ARGENTINE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL |
| ANNEX V | LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES |
| ANNEX VI | JOINT COORDINATING COMMITTEE |
| ANNEX VII | WORKING GROUPS |
| ANNEX VIII | TENTATIVE PDM |
| ANNEX IX | TENTATIVE PLAN OF OPERATION |

ANNEX I MASTER PLAN

1. Overall Goal

The capacities of management on biodiversity of the Interior Atlantic Forest are strengthened

2. Project Objective

The Ministry of Ecology, Renewable Natural Resources and Tourism is strengthened as a producer and provider institution of biodiversity information of the Province of Misiones.

3. Outputs

- (1) Capacities for generation, compilation and organization of information on biodiversity are improved.
- (2) Capacities for access to information about biodiversity are improved.
- (3) Capacities for environmental education activities are improved.

4. Activities

- 1-1 Adapt the software for the database.
- 1-2 Create an explicit and centralized circuit of information.
- 1-3 Create the database.
- 1-4 Establish links of cooperation with scientific and educational, public and private institutions.
- 1-5 Provide training to the personnel of the institution on generation, compilation and organization of information.
- 1-6 Evaluate and monitor of the training program.

- 2-1 Determine the strategic points (such as local offices of MERNRyT) to access to the information.
- 2-2 Reach an agreement on the way to disseminate the information.
- 2-3 Provide a communication system to the strategic points and natural protected areas.
- 2-4 Provide training on the use of the database (ways of access).
- 2-5 Evaluate and monitor of the training program.

- 3-1 Review and adequate the program of environmental education based on the

biodiversity information.

- 3-2 Provide training to the personnel on environmental education activities.
- 3-3 Carry out environmental education activities in Puerto Peninsula Provincial Park as a pilot experience.
- 3-4 Evaluate and monitor of the environmental education activities.

In case that the Master Plan should be modified due to the better implementation of the Project, both Governments should agree and confirm its modifications, by exchanging Minutes of Meetings.

ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS

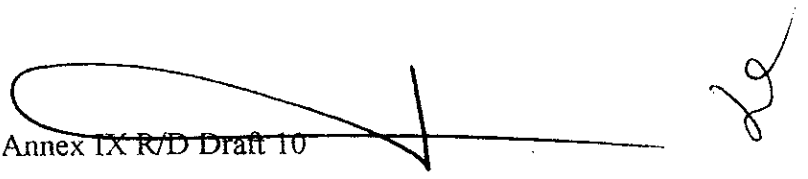
The short-term experts will be dispatched in the themes described below.

- Biodiversity Information System
- Natural Protected Areas Management
- Environmental education
- Other specialties areas accorded by the Project

In addition JICA will dispose a local administrative coordinator aiming to an efficient Project implementation.

ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

Equipments, tools, materials and their spare parts necessary for the implementation of the activities described in the Master Plan.

A large, stylized handwritten signature is written over the footer text. To the right of the signature, there are two smaller handwritten initials, possibly 'de'.

**ANNEX IV LIST OF ARGENTINE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE
PERSONNEL**

1. Project administrative management counterpart

(1) Project Director

Undersecretary of Ecology and Sustainable Development of the Ministry

(2) Project Manager

General Director of Ecology and Environment Quality of the Ministry

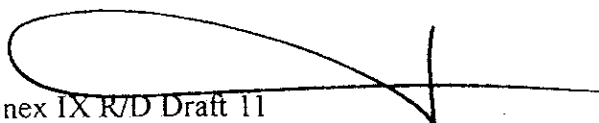
2. Technical Counterpart

(1) Personnel of the Direction of Biodiversity

(2) Personnel of the Direction of Natural Protected Areas

(3) Personnel of the Department of Environmental Education

3. Other personnel will be assigned if necessary



ANNEX V LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

1. Office space and necessary facilities for the Japanese experts and local administrative coordinator.
2. Rooms and space necessary for installation and storage of equipment.
3. Electricity, air-conditioning, water supply and necessary telecommunication facilities including telephone and facsimile.
4. Land and other facilities necessary for the implementation of the Project.

ANNEX VI JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Functions

The Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") will meet at least once a year and whenever the necessity arises, in order to fulfill the following functions:

- (1) To approve an annual work plan of the Project based on the Plan of Operation within the framework of the Record of Discussions;
- (2) To monitor and review the overall progress of the Project carried out under the above-mentioned annual work plan;
- (3) To exchange views and ideas on major issues those arise during the implementation of the Project; and
- (4) Other relevant themes related with implementation of the Project.

2. Composition

The JCC will be composed of the chair, the member and the observers. The rules and guidelines for the management of the JCC will be determined at the initial stage of the Project.

(1) Chairperson

- Minister of the Ministry

(2) Argentine side

- The Undersecretary of Ecology and Sustainable Development of the Ministry
- The General Director of Ecology and Environmental Quality of the Ministry
- The General Director of Ecological Park "El Puma" of the Ministry

(3) Japanese side

- JICA Expert(s) of the Project
- Representative from JICA Argentine Office

(4) Observers

- Official(s) of Embassy of Japan
- Official(s) of the Ministry of Foreign Affairs of Argentina
- Coordinator of the Green Corridor Special Unit

Note: Chairperson can name new member or request the attendance of other participants, as necessary, upon agreement of the JCC.



ANNEX VII WORKING GROUPS

1. Functions

Working groups will be conformed by institutions of both countries and will have to:

- (1) coordinate the planning, implementation, monitoring and other matters related to the activities of the Project in order to obtain the best outputs and,
- (2) elaborate operation plans and progress and monitoring reports to be reviewed and approved by the Joint Coordinating Committee.

2. Conformation

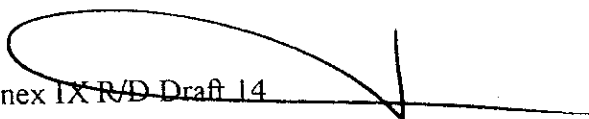
Working groups will be conformed by:

- (1) For Outputs 1 and 2

The Direction of Biodiversity, the Direction of Natural Protected Areas.

- (2) For Output 3

The Department of Environmental Education, the Direction of Biodiversity and the Direction of Natural Protected Areas.



ANNEX VIII TENTATIVE PDM

Title of the Project: Project on Strengthening Capacities in Biodiversity Conservation of the Interior Atlantic Forest
 Project Site: Province of Misiones, Argentine Republic
 Target Group: Personnel from Ministry of Ecology, Renewable Natural Resources and Tourism (MERNRYT), Province of Misiones

PDM Version: 0
 Date: November 30, 2007
 Duration: Three (3) years

| NARRATIVE SUMMARY | OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS | MEANS OF VERIFICATION | IMPORTANT ASSUMPTIONS |
|--|--|---|---|
| <p><OVERALL GOAL> The capacities of management on biodiversity of the Interior Atlantic Forest are strengthened</p> | <p>Number of programs implemented in the framework of the Provincial Strategy of Biodiversity</p> | <p>Report of the Programs.</p> | |
| <p><PROJECT PURPOSE> The Ministry of Ecology, Renewable Natural Resources and Tourism is strengthened as a producer and provider institution of biodiversity information of the Province of Misiones.</p> | <p>The Biodiversity Information System implemented when the project is finished.</p> | <p>- Final report of the Project - Interviews</p> | <p>Information provided by the project is incorporated in political decisions.</p> |
| <p><OUTPUTS> 1. Capacities for generation, compilation and organization of information on biodiversity are improved. 2. Capacities for access to information about biodiversity are improved. 3. Capacities for environmental education activities are improved.</p> | <p>1.1. Number of dependencies that send field forms. 1.2. Number of qualified personnel. 1.3. Number of meetings with training purposes. 1.4. Number of formal agreements signed with other institutions. 2.1. Number of consults to the database. 3.1. Number of people who received information on biodiversity. 3.2. Number of educational meetings held within the pilot area.</p> | <p>- Statistics of the information received. - Progress report of the Project - Interviews</p> | <p>- Qualified personnel continue to work in the institution. - Skills developed are accepted by political authorities</p> |
| <p>ACTIVITIES 1.1. Adapt the software for the database. 1.2. Create an explicit and centralized circuit of information. 1.3. Create the database. 1.4. Establish links of cooperation with scientific and educational, public and private institutions. 1.5. Provide training to the personnel of the institution on generation, compilation and organization of information. 1.6. Evaluate and monitor of the training program. 2.1. Determine the strategic points (such as local offices of MERNRYT) to access to the information. 2.2. Reach an agreement on the way to disseminate the information. 2.3. Provide a communication system to the strategic points and natural protected areas. 2.4. Provide training on the use of the database (ways of access). 2.5. Evaluate and monitor of the training program. 3.1. Review and adequate the program of environmental education based on the biodiversity information. 3.2. Provide training to the personnel on environmental education activities. 3.3. Carry out environmental education activities in Puerto Peninsula Provincial Park as a pilot experience. 3.4. Evaluate and monitor of the environmental education activities.</p> | <p>INPUTS ARGENTINA (1) Personnel of the Project 1) Director: Undersecretary of Ecology and Sustainable Development. 2) Coordinator: General Director of Ecology and Environmental Quality. 3) Counterpart Personnel: a. Personnel from the Direction of Natural Protected Areas. b. Personnel from the Direction of Biodiversity. c. Personnel from the Department of Environmental Education. (2) Facilities, fields, services and necessary buildings, machinery, equipments, instruments, transport, tools, replacements and any other necessary material. Others: administrative personnel, and necessary administrative and maintenance expenses.</p> | <p>JAPAN (1) Experts (Short Term) Experts on the following fields will be sent. - Biodiversity Information System - Natural Protected Areas Management. - Environmental education. (2) Equipment and necessary materials. (3) Technical training in Japan. (4) Local administrative coordinator.</p> | <p>- Counterpart personnel keep on being employed at the activities of the project. - MERNRYT will keep on granting the budget assigned for the activities of the project.</p> <p>PREVIOUS CONDITIONS Situational Diagnosis of involved areas.</p> |

ANNEX IX TENTATIVE PLAN OF OPERATION

| OUTPUTS | ACTIVITIES | Year 2008 | | | | Year 2009 | | | | Year 2010 | | | | 2011 | | Responsible |
|--|---|-----------|----|----|----|-----------|----|----|----|-----------|----|----|----|------|----|--|
| | | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | |
| 1 Capacities for generation, compilation and organization of information on biodiversity are improved. | 1.1. Adapt the software for the database | █ | | | | | | | | | | | | | | Direction of Biodiversity / Direction of Natural Protected Areas |
| | 1.2. Create an explicit and centralized circuit of information | █ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1.3. Create the database | █ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1.4. Establish links of cooperation with scientific and educational, public and private institutions | █ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1.5. Provide training to the personnel of the institution on generation, compilation and organization of information. | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1.6. Evaluate and monitor of the training program. | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 Capacities for access to information about biodiversity are improved | 2.1. Determine the strategic points (such as local offices of the MERNRYT) to access to the information | █ | | | | | | | | | | | | | | Direction of Biodiversity / Direction of Natural Protected Areas |
| | 2.2. Reach an agreement on the way to disseminate the information. | █ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2.3. Provide a communication system to the strategic points and natural protected areas. | █ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2.4. Provide training on the use of the database (ways of access) | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2.5. Evaluate and monitor of the training program. | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 Capacities for environmental education activities are improved. | 3.1. Review and adequate the program of environmental education based on the biodiversity information. | █ | | | | | | | | | | | | | | Department of Environmental Education |
| | 3.2. Provide training to the personnel on outreach activities | █ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3.3. Carry out environmental education activities in Puerto Peninsula Provincial Park as a pilot experience. | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3.4. Evaluate and monitor of the environmental education activities. | | | | | | | | | | | | | | | |

**ACTA DE LA REUNIÓN ENTRE
EL EQUIPO DE ESTUDIO PREPARATORIO DEL JAPÓN Y
LAS AUTORIDADES PERTINENTES DEL GOBIERNO DE
LA REPÚBLICA ARGENTINA
SOBRE LA COOPERACIÓN TÉCNICA DE JAPÓN PARA
EL PROYECTO DE FORTALECIMIENTO DE LAS CAPACIDADES EN
CONSERVACIÓN DE LA BIODIVERSIDAD DE LA SELVA ATLÁNTICA INTERIOR**

El Equipo de Estudio Preparatorio de Japón (en adelante, "el Equipo") organizado por la Agencia de Cooperación Internacional de Japón (en adelante "JICA") visitó la República Argentina entre el 19 de noviembre y el 4 de diciembre de 2007 con el propósito de resolver los detalles de la cooperación técnica relacionada con "El Proyecto de Fortalecimiento de las Capacidades en Conservación de la Biodiversidad de la Selva Atlántica Interior" (en adelante, "el Proyecto") en la República Argentina.

En el transcurso de su estadía en la República Argentina, el Equipo intercambió puntos de vista y sostuvo una serie de reuniones con la autoridades pertinentes de Argentina respecto de las medidas deseables que deberían tomar JICA y el Ministerio de Ecología, Recursos Naturales Renovables y Turismo de la Provincia de Misiones, para lograr una implementación exitosa del Proyecto.

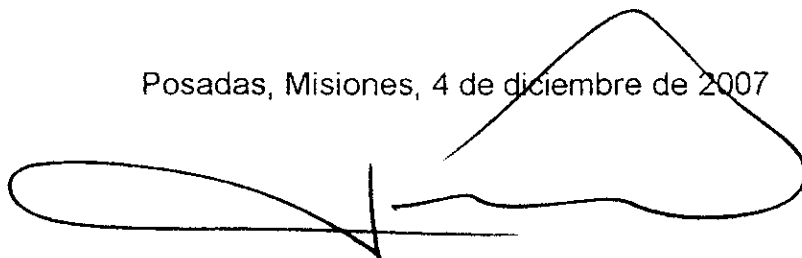
Como resultado de las reuniones, y de conformidad con lo dispuesto por el Convenio sobre Cooperación Técnica entre el Gobierno del Japón y el Gobierno de la República Argentina firmado en Tokio el día 11 de octubre de 1979 (en adelante, "el Convenio"), el Equipo y las autoridades pertinentes, acordaron sobre los temas que hace referencia el documento adjunto y recomendarlo a sus respectivos Gobiernos.

Realizado por duplicado en español y en inglés, cada texto es igualmente auténtico. En caso de que se presente alguna divergencia en la interpretación, debe respetarse el texto en inglés.

Posadas, Misiones, 4 de diciembre de 2007



Sr. Juan Carlos Yamamoto
Jefe
Equipo de Estudio Preparatorio
Agencia de Cooperación Internacional
del Japón (JICA)
Japón



Sr. Luis A. Jacobo
Ministro
Ministerio de Ecología, Recursos
Naturales Renovables y Turismo
Provincia de Misiones
República Argentina

DOCUMENTO ADJUNTO

I. COOPERACIÓN ENTRE JICA Y EL MINISTERIO DE ECOLOGIA, RECURSOS NATURALES RENOVABLES Y TURISMO DE LA PROVINCIA DE MISIONES

1. El Ministerio de Ecología, Recursos Naturales Renovables y Turismo de la Provincia de Misiones de la República Argentina (en adelante, "el Ministerio") implementará el proyecto de cooperación con JICA.
2. El Proyecto se implementará de acuerdo con la Matriz de Diseño del Proyecto (en adelante, "MDP") que se incluye en el Anexo I y al plan de operaciones provisorio que se incluye en el Anexo II.

II. MEDIDAS QUE DEBE TOMAR JICA

Conforme a las leyes y regulaciones vigentes en Japón y a las disposiciones del Artículo III del Convenio, JICA como agencia ejecutiva para la cooperación técnica del Gobierno del Japón, tomará, a su cargo, las siguientes medidas según los procedimientos normales de su plan de cooperación técnica.

1. ENVÍO DE EXPERTOS JAPONESES

JICA prestará los servicios de los expertos japoneses como se enumeran en el Anexo III. Las disposiciones del Artículo IX del Convenio se aplicarán a los expertos antes mencionados.

Ambas partes confirmaron que el Ministerio presentará la solicitud oficial para designar expertos japoneses por el término de la cooperación técnica.

2. PROVISIÓN DE MAQUINARIA Y EQUIPOS

JICA proveerá la maquinaria, los equipos y otros materiales necesarios para las implementaciones del Proyecto. Las disposiciones del Artículo VII del Convenio se aplicarán a los Equipos.

Ambas partes confirmaron que el Ministerio presentará el formulario con la solicitud oficial para la provisión de equipos.

3. CAPACITACIÓN DEL PERSONAL CONTRAPARTE ARGENTINO EN JAPÓN

JICA recibirá al personal contraparte de Argentina relacionado con el Proyecto para llevar a cabo la capacitación técnica en Japón.

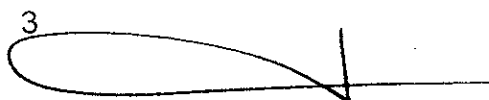
Ambas partes confirmaron que el Ministerio presentará la solicitud oficial para la

capacitación.

III. MEDIDAS QUE DEBE TOMAR EL MINISTERIO

1. El Ministerio tomará las medidas necesarias para asegurar que se mantenga la operación independiente del Proyecto durante y después del periodo de cooperación técnica japonesa, a través de la participación total y activa en el Proyecto por parte de las autoridades relacionadas, instituciones y grupos beneficiarios.
2. El Ministerio garantizará que las tecnologías y el conocimiento adquiridos por los ciudadanos argentinos como resultado de la cooperación técnica japonesa contribuirán al desarrollo social y económico de la República Argentina.
3. Conforme a lo dispuesto en el Artículo V, VI, VIII del Convenio, el Gobierno de la República Argentina concederá privilegios, exenciones y beneficios a los expertos japoneses mencionados en el apartado II-1 anterior y a sus familias en la República Argentina.
4. Conforme a lo dispuesto en el Artículo VII del Convenio, el Ministerio tomará las medidas necesarias para recibir y utilizar el Equipo suministrado por la JICA según el apartado II-2 anterior y el equipo, la maquinaria y los materiales ingresados por los expertos japoneses mencionados en el apartado II-1 anterior.
5. El Ministerio tomará las medidas necesarias para asegurar que el conocimiento y la experiencia adquiridos por el personal contraparte argentino a partir de la capacitación técnica en Japón sean utilizados efectivamente en la implementación del Proyecto.
6. Conforme a lo dispuesto en el Artículo V-(e)-(f) del Convenio, el Ministerio proveerá los servicios del personal contraparte y personal administrativo argentino como se menciona en el Anexo IV.
7. Conforme a lo dispuesto en el Artículo V-(a)-(b) del Convenio, el Ministerio proveerá de los terrenos, las instalaciones y los edificios necesarios para la implementación del Proyecto.
8. Conforme a las leyes y regulaciones vigentes en la República Argentina, el

3



Ministerio tomará las medidas necesarias para suministrar o reemplazar, a su cargo, la maquinaria, el equipo, los instrumentos, los vehículos, la herramientas, los repuestos y cualquier otro material necesario para la implementación del Proyecto que no sea el Equipo provisto por JICA en el apartado II-2.

9. Conforme a las leyes y regulaciones vigentes en la República Argentina, el Ministerio tomará las medidas necesarias para cubrir los gastos de mantenimiento necesarios para la implementación del Proyecto.

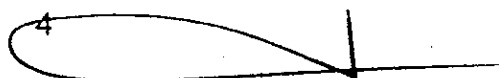
IV. ADMINISTRACIÓN DEL PROYECTO

1. El Subsecretario de Ecología y Desarrollo Sustentable del Ministerio como Director del Proyecto cargará con la responsabilidad total de administración e implementación del Proyecto.
2. El Director General de Ecología y Calidad Ambiental del Ministerio como Coordinador del Proyecto será el responsable de las cuestiones técnicas del Proyecto.
3. El Jefe del Equipo del Japón proveerá al Director del Proyecto y al Coordinador del Proyecto las recomendaciones y el asesoramiento necesarios en toda cuestión correspondiente a la implementación del Proyecto.
4. Los expertos japoneses brindarán la orientación y el asesoramiento técnico necesarios al personal contraparte argentino acerca de cuestiones técnicas correspondientes a la implementación del Proyecto.
5. Se establecerá un Comité Conjunto de Coordinación cuyas funciones y composición se describen en el Anexo VI, para una implementación efectiva y exitosa de la cooperación técnica para el Proyecto.

V. EVALUACIÓN CONJUNTA

La evaluación del Proyecto sera realizada de manera conjunta por JICA y las autoridades argentinas pertinentes, transcurrida la mitad y durante los ultimos 6 (seis) meses del periodo de cooperación con el fin de analizar el grado de avance.

4



VI. RECLAMO A LOS EXPERTOS JAPONESES

Conforme a lo dispuesto en el Artículo VIII del Convenio, el Ministerio se compromete a hacerse cargo de los reclamos, en caso de que surgiera alguno, hacia los expertos japoneses contratados para la cooperación técnica para el Proyecto, que ocurran durante o se relacionen con el desempeño de sus funciones oficiales en la República Argentina, excepto por los que surjan de la conducta dolosa o de la negligencia grave por parte de los expertos japoneses.

VII. CONSULTAS MUTUAS

Se realizarán consultas mutuas entre la JICA y las autoridades pertinentes de Argentina sobre las cuestiones más relevantes que surjan de este Documento Adjunto o que estén relacionadas con él.

VIII. MEDIDAS PARA FOMENTAR LA COMPRENSIÓN Y EL APOYO DEL PROYECTO

Con el propósito de fomentar el apoyo del Proyecto en el pueblo de la República Argentina, el Ministerio tomará las medidas adecuadas para hacer que el pueblo de la República Argentina conozca cabalmente el Proyecto.


IX. TÉRMINO DE LA COOPERACIÓN

La duración de la cooperación técnica para el Proyecto será de tres (3) años.

LISTA DE ANEXOS

| | |
|-----------|---|
| ANEXO I | MDP PROVISORIA |
| ANEXO II | PLAN DE OPERACIONES PROVISORIO |
| ANEXO III | LISTA DE EXPERTOS JAPONESES |
| ANEXO IV | LISTA DE PERSONAL ADMINISTRATIVO Y CONTRAPARTE ARGENTINOS |
| ANEXO V | COMITÉ CONJUNTO DE COORDINACIÓN |
| ANEXO VI | GRUPOS DE TRABAJO (PROVISORIO) |

5



ANEXO VII LISTA DE TERRENOS, EDIFICIOS E INSTALACIONES
ANEXO VIII LISTA DE EQUIPAMIENTOS
ANEXO IX R/D (Borrador)

6

ANEXO I MDP PROVISORIA

Título del proyecto: Proyecto de Fortalecimiento de Capacidades en Conservación de la Biodiversidad de la Selva Atlántica Interior.
Área objeto del proyecto: Provincia de Misiones, República Argentina
Grupo Meta: Personal del Ministerio de Ecología, Recursos Naturales Renovables y Turismo de la Pcia. de Misiones (MERNRYT).

PDM Versión: 0
Fecha de elaboración: 30 de Noviembre de 2007
Período de Ejecución: tres (3) años

| Resumen del Proyecto | Indicadores | Medios de Verificación | Supuestos importantes |
|---|---|---|--|
| <p><OBJETIVO SUPERIOR> Se fortalecen las capacidades de gestión sobre biodiversidad de la Selva Atlántica Interior</p> | <p>Número de programas implementados en el marco de la Estrategia Provincial de Biodiversidad</p> | <p>Informe de los Programas</p> | |
| <p><OBJETIVO ESPECIFICO DEL PROYECTO> Se fortalece al Ministerio de Ecología, Recursos Naturales Renovables y Turismo como un ente generador y proveedor de información sobre biodiversidad de la pcia. de Misiones.</p> | <p>El Sistema de Información de Biodiversidad implementado al finalizar el proyecto</p> | <p>- Informe final del proyecto - Entrevistas</p> | <p>La información provista por el proyecto es incorporada en las decisiones políticas</p> |
| <p><RESULTADOS> 1. Se mejoran las capacidades de generación, recolección y organización de información sobre biodiversidad 2. Se mejoran las capacidades para el acceso a la información sobre biodiversidad 3. Se mejoran las capacidades sobre extensión</p> | <p>1.1. Número de dependencias que remiten fichas obtenidas en terreno 1.2. Número de personal capacitado 1.3. Número de eventos de capacitación 1.4. Número de convenios firmados con otras instituciones 2.1. Número de consultas a la base de datos 3.1. Número de personas que recibieron información de biodiversidad 3.2. Número de eventos educativos en área piloto</p> | <p>- Estadística de las fichas recibidas - Informe de avance del proyecto - Entrevistas</p> | <p>- El personal capacitado permanece en la institución - Las técnicas desarrolladas son aceptadas por las autoridades</p> |
| <p><ACTIVIDADES> 1.1. Adecuar el software para la base de datos 1.2. Establecer un circuito explícito y centralizado de la información 1.3. Crear la base de datos 1.4. Establecer un mecanismo de vinculación y cooperación con instituciones científicas y educativas, públicas y privadas 1.5. Capacitar al personal de la institución en generación, recolección y organización de información 1.6. Evaluar y monitorear el programa de capacitación 2.1. Determinar los puntos estratégicos (como oficinas locales del MERNRYT) de acceso a la información 2.2. Consensuar el medio adecuado para la divulgación de la información 2.3. Dotar a los puntos estratégicos y a las áreas protegidas de un sistema de comunicación 2.4. Capacitar en el uso de la base de datos (modo de acceso) 2.5. Evaluar y monitorear el programa de capacitación 3.1. Revisar y adecuar el programa de extensión sobre la base de la información de biodiversidad 3.2. Capacitar en actividades de extensión al personal 3.3. Implementar el programa de extensión como experiencia piloto en P.P. Pio. Peninsula 3.4. Evaluar y monitorear el programa de extensión</p> | <p><INSUMOS> ARGENTINA (1) Personal del Proyecto 1) Director, Subsecretario de Ecología y Desarrollo Sustentable 2) Coordinador, Director General de Ecología y Calidad Ambiental 3) Contraparte Personal a. Personal de Dirección de las Áreas Naturales Protegidas b. Personal de Dirección de Biodiversidad c. Personal de Departamento de Educación Ambiental (2) Facilidades: Tierras, instalaciones y edificios necesarios, maquinaria, equipo, instrumentos, vehículos, herramientas, repuestos y todo otro material necesario Otros: Personal de administración y gastos administrativos y de mantenimiento necesarios</p> | <p>JAPON (1) Expertos (Corto Plazo) Se enviarán los expertos que en el corto plazo en con las siguientes especialidades. - Sistema de Información de Biodiversidad - Manejo de las Áreas Naturales Protegidas - Educación Ambiental (2) Equipamiento y materiales necesarios (3) Capacitación técnica en Japón (4) Coordinador administrativo local</p> | <p>- El personal contraparte permanece trabajando en las actividades del proyecto - El Ministerio continuará otorgando el presupuesto asignado para las actividades del proyecto</p> <p><CONDICIONES PREVIAS> Diagnóstico situacional de las áreas involucradas</p> |

7

de

ANEXO II PLAN DE OPERACIONES PROVISORIO

| Resultados | Actividades | Año 2008 | | | | Año 2009 | | | | Año 2010 | | | | Responsable | |
|--|---|----------|----|----|----|----------|----|----|----|----------|----|----|----|-------------|--|
| | | 1T | 2T | 3T | 4T | 1T | 2T | 3T | 4T | 1T | 2T | 3T | 4T | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 Se mejoran las capacidades de generación, recolección y organización de información sobre biodiversidad | 1.1. Adecuar el software para la base de datos | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1.2. Establecer un circuito explícito y centralizado de la información | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1.3. Crear la base de datos | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1.4. Establecer un mecanismo de vinculación y cooperación con instituciones científicas y educativas, públicas y privadas | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1.5. Capacitar al personal de la institución en generación, recolección y organización de información | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1.6. Evaluar y monitorear el programa de capacitación | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 Se mejoran las capacidades para el acceso a la información sobre biodiversidad | 2.1. Determinar los puntos estratégicos (como oficinas locales del MERNRY) de acceso a la información | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2.2. Consensuar el medio adecuado para la divulgación de la información | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2.3. Dotar a los puntos estratégicos y a las áreas protegidas de un sistema de comunicación | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2.4. Capacitar en el uso de la base de datos (modo de acceso) | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2.5. Evaluar y monitorear el programa de capacitación | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 Se mejoran las capacidades sobre extensión | 3.1. Revisar y adecuar el programa de extensión sobre la base de la información de biodiversidad | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3.2. Capacitar en actividades de extensión al personal | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3.3. Implementar el programa de extensión como experiencia piloto en Parque Pcia. Pto. Península | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3.4. Evaluar y monitorear el programa de extensión | | | | | | | | | | | | | | |

00

de

ANEXO III LISTA DE EXPERTOS JAPONESES

Se enviarán los expertos de corto plazo en las siguientes especialidades.

- Sistema de Información de Biodiversidad
- Manejo de las Areas Naturales Protegidas
- Educación Ambiental
- Otras áreas acordadas por el Proyecto

Además, JICA dispondrá de un Coordinador administrativo local para lograr la eficiente implementación del Proyecto.

ANEXO IV LISTA DE PERSONAL ADMINISTRATIVO Y CONTRAPARTE ARGENTINOS

1. Contraparte de la gestión administrativa del Proyecto
 - (1) Director del Proyecto
 - Subsecretario de Ecología y Desarrollo Sustentable del Ministerio
 - (2) Coordinador del Proyecto
 - Director General de Ecología y Calidad Ambiental
2. Personal Contraparte Técnico (Ministerio)
 - (1) Personal de la Dirección de Areas Naturales Protegidas
 - (2) Personal de la Dirección de Biodiversidad
 - (3) Personal del Departamento de Educacion Ambiental
3. Si es necesario, se asignará otro personal.

ANEXO V COMITÉ CONJUNTO DE COORDINACIÓN

1. Funciones

El Comité Conjunto de Coordinación (en adelante, "el CCC") se reunirá, como mínimo, una vez por año y cuando surjan necesidades que ameriten su reunión para cumplir las siguientes funciones:

- (1) aprobar el plan anual de trabajo del Proyecto, basado en el Plan de Operaciones dentro del marco del R/D,
- (2) monitorear y revisar el avance del Proyecto en base al plan anual de trabajo,
- (3) intercambiar ideas y puntos de vista acerca de asuntos importantes que surjan durante la implementación del Proyecto y,
- (4) otros temas relevantes relacionados con la implementación del Proyecto.

2. Composición

El CCC estará compuesto por un Presidente, miembros y observadores. Las reglas y lineamientos para la administración del CCC se determinarán al inicio del Proyecto.

(1) Presidente

- Ministro de Ecología, Recursos Naturales Renovables y Turismo

(2) Miembros de lado Argentina

- Subsecretario de Ecología y Desarrollo Sustentable
- Director General de Ecología y Calidad Ambiental
- Director General del Parque Ecológico El Puma

(3) Miembros de lado Japonés

- Experto(s) de JICA
- Representante de JICA Argentina

(4) Observadores

- Representante(s) de la Embajada del Japón en Argentina
- Representante(s) de la Cancillería Argentina
- Coordinador de Unidad de Gestion Corredor Verde

Nota: El Presidente puede nombrar nuevos miembros o requerir la asistencia de otros participantes, de ser necesario, con el acuerdo previo del CCC.

ANEXO VI GRUPOS DE TRABAJO (PROVISORIO)

1. Funciones

Los grupos de trabajo estarán conformadas por instituciones de ambos países y deberán

- (1) coordinar la planificación, implementación, monitoreo y otros asuntos relacionados a las actividades del Proyecto, para obtener los mejores resultados y
- (2) preparar planes de operaciones e informes de avance y monitoreo para su revisión y aprobación por el Comité Conjunto de Coordinación.

2. Composición

Los Grupos de Trabajo estarán compuestos,

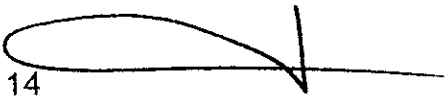
- (1) Para los Resultados 1 y 2
Dirección de Biodiversidad, Dirección de Areas Naturales Protegidas
- (2) Para el Resultado 3
Departamento de Educación Ambiental, Dirección de Biodiversidad,
Dirección de Areas Naturales Protegidas

ANEXO VII LISTA DE TERRENOS, EDIFICIOS E INSTALACIONES

1. Espacio de oficina e instalaciones necesarias para los expertos japoneses y coordinador administrativo local.
2. Espacios necesarios para la instalación y depósito de equipamiento.
3. Electricidad, aire acondicionado, provisión de agua y las necesarias instalaciones de telecomunicaciones, incluyendo teléfono y fax.
4. Terreno y otras instalaciones necesarias para la implementación del Proyecto.

ANEXO VIII LISTA DE EQUIPAMIENTOS

Equipamientos, herramientas, materiales y los repuestos necesarios para la implementación de las actividades descritas en el Plan Maestro.

14 



RESUMEN DE LAS DISCUSIONES ENTRE
LA AGENCIA DE COOPERACIÓN INTERNACIONAL DEL JAPÓN Y LAS
AUTORIDADES CONCERNIENTES DEL GOBIERNO DE LA REPÚBLICA
ARGENTINA SOBRE LA COOPERACIÓN TÉCNICA JAPONESA PARA EL
PROYECTO DE FORTALECIMIENTO DE LAS CAPACIDADES EN
CONSERVACIÓN DE LA BIODIVERSIDAD DE LA SELVA ATLÁNTICA INTERIOR

La Agencia de Cooperación Internacional de Japón (en adelante referida como "JICA") a través de su Representante Residente de la Oficina de JICA en Argentina, intercambió puntos de vista y sostuvo una serie de conversaciones con las autoridades argentinas concernientes, respecto de las medidas deseables a ser tomadas por JICA y el Gobierno de la República Argentina para la exitosa implementación del programa de cooperación técnica para el Proyecto de Fortalecimiento de las Capacidades en Conservación de la Biodiversidad de la Selva Atlántica Interior.

Como resultado de las conversaciones, y de acuerdo a las disposiciones del Convenio sobre Cooperación Técnica entre el Gobierno del Japón y el Gobierno de la República Argentina, firmado en Tokyo el día 11 de Octubre de 1979 (en adelante denominado "El Convenio"), el Representante Residente de JICA, oficina en la Argentina y las autoridades competentes de la República Argentina, acuerdan las cuestiones referidas en el documento adjunto.

Confeccionado en idioma español e inglés, siendo cada uno de ellos igualmente auténtico. En caso de surgir dudas en la interpretación, prevalecerá el texto en inglés.

Posadas, Misiones, XX de XX de 200X

Sr. Toshiaki FURUYA
Representante Residente
Oficina en Argentina
Agencia de Cooperación
Internacional del Japón
Japón

Sr. Maurice CLOSS
Gobernador
Provincia de Misiones
República Argentina

DOCUMENTO ADJUNTO

I. COOPERACION ENTRE AMBOS GOBIERNOS

1. El Gobierno de la República Argentina implementará en cooperación con JICA, el Proyecto de Fortalecimiento de las Capacidades en Conservación de la Biodiversidad de la Selva Atlántica Interior. (en adelante denominado "El Proyecto")
2. El Proyecto se implementará de acuerdo con el Plan Maestro, que se adjunta como Anexo I.

II. MEDIDAS A TOMAR POR JICA

De acuerdo con las leyes y reglamentos en vigencia en Japón y según el artículo III del Convenio, JICA como agencia ejecutora para la cooperación técnica por el Gobierno del Japón, tomará a su cargo, las siguientes medidas, de acuerdo a los procedimientos corrientes de su esquema de cooperación técnica.

1. ENVIO DE EXPERTOS JAPONESES

JICA proveerá los servicios de Expertos Japoneses detallado en el Anexo II. La disposición del Artículo IX del Convenio será aplicado a los expertos mencionados.

2. PROVISION DE MAQUINARIAS Y EQUIPOS

JICA proveerá maquinaria, equipamiento y otros materiales necesarios (en adelante referido como "El Equipamiento") , detallado en el Anexo III, para la implementación del Proyecto. La disposición del Artículo VII del Convenio será aplicada al Equipamiento.

3. CAPACITACION DEL PERSONAL ARGENTINO EN JAPON

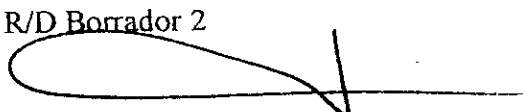
JICA recibirá al personal contraparte de Argentina relacionado con el Proyecto para llevar a cabo la capacitación técnica en Japón.

Ambas partes confirmaron que el Ministerio presentará la solicitud oficial para la capacitación.

III. MEDIDAS A TOMAR POR EL GOBIERNO DE LA REPUBLICA ARGENTINA

1. La Parte Argentina tomará las medidas necesarias para asegurar que la operación

Anexo IX: R/D Borrador 2



independiente del Proyecto sea mantenida durante y después del período de la cooperación técnica japonesa, a través del total y activo compromiso con el Proyecto de todas las autoridades, grupos beneficiarios e instituciones concernientes.

2. La Parte Argentina asegurará que la tecnología y conocimientos adquiridos por el personal argentino como resultado de la cooperación técnica japonesa contribuirá al desarrollo socioeconómico de la República Argentina.
3. De acuerdo con lo dispuesto por los Artículos V, VI y VIII del Convenio, el Gobierno de la República Argentina beneficiará en la misma, con privilegios, exenciones y beneficios a los expertos japoneses y sus familias, referidos en el punto II-1.
4. De acuerdo con lo dispuesto por el Artículo VII del Convenio, el Gobierno de la República Argentina tomará las medidas necesarias para recibir y hacer uso del equipamiento provisto por JICA, de acuerdo al punto II-2 y los equipos, maquinarias y materiales acarreados por los expertos japoneses, referidos en el punto II-1.
5. La Parte Argentina tomará las medidas necesarias para asegurar que los conocimientos y experiencias adquiridas por el personal argentino, a través de su capacitación técnica en Japón, sean utilizados de manera efectiva en la implementación del Proyecto.
6. De acuerdo con lo dispuesto en el Artículo V-(e)-(f) del Convenio, el Gobierno de la República Argentina proveerá los servicios del personal contraparte argentino y personal administrativo, referidos en el Anexo IV.
7. De acuerdo con lo dispuesto en el Artículo V-(a)-(b) del Convenio, la Parte Argentina proveerá terreno, edificio e instalaciones, referidos en el Anexo V.
8. De acuerdo con las leyes y reglamentaciones en vigencia en la República Argentina, la Parte Argentina tomará las medidas necesarias para administrar o reemplazar a su costo, maquinaria, equipos, instrumentos, vehículos, herramientas, repuestos y demás materiales necesarios para la implementación del Proyecto, además del equipamiento provisto por JICA, referidos en el punto II-2 anterior.
9. De acuerdo con las leyes y reglamentaciones en vigencia en la República Argentina, la Parte Argentina tomará las medidas necesarias para afrontar los gastos corrientes necesarios para la implementación del Proyecto.

IV. ADMINISTRACION DEL PROYECTO

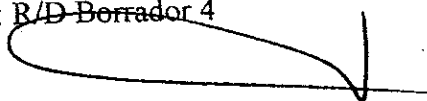
1. El Subsecretario de Ecología y Desarrollo Sustentable del Ministerio como Director del Proyecto cargará con la responsabilidad total de la administración y la implementación del Proyecto.
2. Director General de Ecología y Calidad Ambiental del Ministerio como Coordinador del Proyecto será el responsable de las cuestiones técnicas del Proyecto.
3. Los expertos japoneses proveerán al Director del Proyecto y al Coordinador del Proyecto las recomendaciones y el asesoramiento necesarios en toda cuestión correspondiente a la implementación del Proyecto.
4. Los expertos japoneses brindarán la orientación y el asesoramiento técnico necesarios al personal contraparte argentino acerca de cuestiones técnicas correspondientes a la implementación del Proyecto.
5. Se establecerá un Comité Conjunto de Coordinación cuyas funciones y composición se describen en el Anexo VI, para una implementación efectiva y exitosa de la cooperación técnica para el Proyecto.

V. EVALUACION CONJUNTA

La evaluación del Proyecto sera realizada de manera conjunta por JICA y las autoridades argentinas pertinentes, transcurrida la mitad y durante los ultimos 6 (seis) meses del periodo de cooperación con el fin de analizar el grado de avance.

VI. RECLAMOS CONTRA LOS EXPERTOS JAPONESES

De acuerdo con la disposición del Artículo VIII del Convenio, el Gobierno de la República Argentina se hará responsable de los reclamos, si surgieren, hacia los expertos japoneses involucrados en el Proyecto y que resultaran como consecuencia de, o durante el transcurso de, o de alguna manera conectado con el desempeño de sus funciones oficiales en la República Argentina, excepto de aquellos que surgieren como consecuencia de conducta dolosa o negligencia por parte de los expertos japoneses.



VII. CONSULTAS MUTUAS

Se harán consultas mutuas entre JICA y el Gobierno Argentino en cualquier tema importante que surgiera de este Documento Adjunto o estuviera en conexión con él.

VIII. MEDIDAS PARA PROMOVER EL ENTENDIMIENTO Y EL APOYO HACIA EL PROYECTO

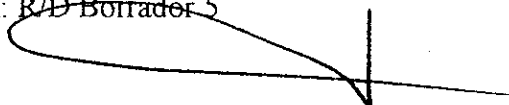
Con el objeto de promover el apoyo de la población hacia el Proyecto, el Gobierno de la República Argentina tomará las medidas convenientes para que el Proyecto sea ampliamente conocido por la población.

IX. PERIODO DE COOPERACION

La duración de la cooperación técnica para el Proyecto, de acuerdo al presente Documento Adjunto, será de tres (3) años, a partir del XX de XX de 200X.

- ANEXO I PLAN MAESTRO**
- ANEXO II LISTA DE EXPERTOS JAPONESES**
- ANEXO III LISTA DE MAQUINARIA Y EQUIPAMIENTOS**
- ANEXO IV LISTA DE CONTRAPARTES ARGENTINOS Y PERSONAL ADMINISTRATIVO**
- ANEXO V LISTA DE TERRENOS, EDIFICIOS E INSTALACIONES**
- ANEXO VI COMITE CONJUNTO DE COORDINACION**
- ANEXO VII GRUPOS DE TRABAJO**
- ANEXO VIII MDP PROVISORIA**
- ANEXO IX PLAN DE OPERACIONES PROVISORIO**

Anexo IX: B/D Borrador 5



ANEXO I PLAN MAESTRO

1. Objetivo Superior

Se fortalecen las capacidades de gestión sobre biodiversidad de la Selva Atlántica Interior.

2. Objetivo del Proyecto

Se fortalece al Ministerio de Ecología, Recursos Naturales Renovables y Turismo como un ente generador y proveedor de información sobre biodiversidad de la pcia. de Misiones.

3. Resultados

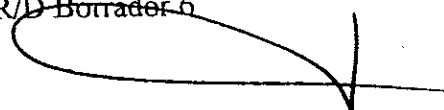
- (1) Se mejoran las capacidades de generación, recolección y organización de información sobre biodiversidad.
- (2) Se mejoran las capacidades para el acceso a la información sobre biodiversidad.
- (3) Se mejoran las capacidades sobre extensión.

4. Actividades

- 1-1 Adecuar el software para la base de datos.
- 1-2 Establecer un circuito explícito y centralizado de la información
- 1-3 Crear la base de datos
- 1-4 Establecer un mecanismo de vinculación y cooperación con instituciones científicas y educativas, públicas y privadas
- 1-5 Capacitar al personal de la institución en generación, recolección y organización de información
- 1-6 Evaluar y monitorear el programa de capacitación.

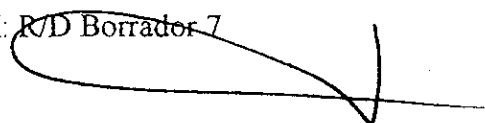
- 2-1 Determinar los puntos estratégicos de acceso a la información.
- 2-2 Consensuar el medio adecuado para la divulgación de la información.
- 2-3 Dotar a los puntos estratégicos y a las áreas protegidas de un sistema de comunicación.
- 2-4 Capacitar en el uso de la base de datos (modo de acceso).
- 2-5 Evaluar y monitorear el programa de capacitación.

- 3-1 Revisar y adecuar el programa de extensión sobre la base de la información de biodiversidad.
- 3-2 Capacitar en actividades de extensión al personal
- 3-3 Implementar el programa de extensión como experiencia piloto en P.P. Pto. Península.



3-4 Evaluar y monitorear el programa de extensión.

En el caso en la cual el Plan Maestro deba ser modificado para mejor implementación del Proyecto, ambos Gobiernos deben acordar y confirmar las modificaciones a través del intercambio de Actas de Reunión.

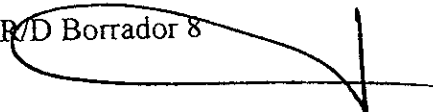
A large, stylized handwritten signature in black ink, consisting of a long horizontal stroke with a loop at the end and a vertical stroke crossing it.A small, stylized handwritten mark or signature in black ink, resembling a cursive letter 'S' or a similar symbol.

ANEXO II LISTA DE EXPERTOS JAPONESES

Se enviarán los expertos de corto plazo en las siguientes especialidades.

- Sistema de Información de Biodiversidad
- Manejo de las Areas Naturales Protegidas
- Educación Ambiental
- Otras áreas acordadas por el Proyecto

Además, JICA dispondrá de un Coordinador administrativo local para lograr la eficiente implementación del Proyecto.



ANEXO III LISTA DE MAQUINARIA Y EQUIPAMIENTOS

Equipamientos, herramientas, materiales y los repuestos necesarios para la implementación de las actividades descritas en el Plan Maestro

Anexo IX: R/D Borrador 9



ANEXO IV LISTA DE CONTRAPARTES ARGENTINOS Y PERSONAL ADMINISTRATIVO

1. Contraparte de la gestión administrativa del Proyecto

(1) Director del Proyecto

Subsecretario de Ecología y Desarrollo Sustentable del Ministerio

(2) Coordinador del Proyecto

Director General de Ecología y Calidad Ambiental del Ministerio

2. Personal Contraparte Técnico (Ministerio)

(1) Personal de la Dirección de Areas Naturales Protegidas

(2) Personal de la Dirección de Biodiversidad

(3) Personal del Departamento de Educacion Ambiental

3. Si es necesario, se asignará otro personal.

ANEXO V LISTA DE TERRENOS, EDIFICIOS E INSTALACIONES

1. Espacio de oficina e instalaciones necesarias para los expertos japoneses y coordinador administrativo local.
2. Espacios necesarios para la instalación y depósito de equipamiento.
3. Electricidad, aire acondicionado, provisión de agua y las instalaciones necesarias de telecomunicaciones, incluyendo teléfono y fax.
4. Terreno y otras instalaciones necesarias para la implementación del Proyecto.

ANEXO VI COMITE CONJUNTO DE COORDINACION

1. Funciones

El Comité Conjunto de Coordinación (en adelante, "el CCC") se reunirá, como mínimo, una vez por año y cuando surjan necesidades que ameriten su reunión para cumplir las siguientes funciones:

- (1) aprobar el plan anual de trabajo del Proyecto, basado en el Plan de Operaciones dentro del marco del R/D,
- (2) monitorear y revisar el avance del Proyecto en base al plan anual de trabajo,
- (3) intercambiar ideas y puntos de vista acerca de asuntos importantes que surjan durante la implementación del Proyecto y,
- (4) otros temas relevantes relacionados con la implementación del Proyecto.

2. Composición

El CCC estará compuesto por un Presidente, miembros y observadores. Las reglas y lineamientos para la administración del CCC se determinarán al inicio del Proyecto.

(1) Presidente

- Ministro de Ecología, Recursos Naturales Renovables y Turismo

(2) Miembros de lado Argentina

- Subsecretario de Ecología y Desarrollo Sustentable
- Director General de Ecología y Calidad Ambiental
- Director General del Parque Ecológico El Puma

(3) Miembros de lado Japonés

- Experto(s) de JICA
- Representante de JICA Argentina

(4) Observadores

- Representante(s) de la Embajada del Japón en Argentina
- Representante(s) de la Cancillería Argentina
- Coordinador de Unidad de Gestion Corredor Verde

Nota: El Presidente puede nombrar nuevos miembros o requerir la asistencia de otros participantes, de ser necesario, con el acuerdo previo del CCC.

ANEXO VII GRUPOS DE TRABAJO

1. Funciones

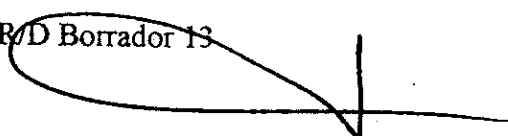
Los grupos de trabajo estarán conformadas por instituciones de ambos países y deberán

- (1) coordinar la planificación, implementación, monitoreo y otros asuntos relacionados a las actividades del Proyecto, para obtener los mejores resultados y,
- (2) preparar planes de operaciones e informes de avance y monitoreo para su revisión y aprobación por el Comité Conjunto de Coordinación.

2. Composición

Los Grupos de Trabajo estarán compuestos,

- (1) Para los Resultados 1 y 2
Dirección de Biodiversidad, Dirección de Areas Naturales Protegidas
- (2) Para el Resultado 3
Departamento de Educación Ambiental, Dirección de Biodiversidad, Dirección de Areas Naturales Protegidas



ANEXO VIII MDP PROVISORIA

Título del proyecto: Proyecto de Fortalecimiento de Capacidades en Conservación de la Biodiversidad de la Selva Atlántica Interior

PDM Versión: 0

Fecha de elaboración: 30 de Noviembre de 2007

Área objeto del proyecto: Provincia de Misiones, República Argentina

Período de Ejecución: tres (3) años

Grupo Meta: Personal del Ministerio de Ecología, Recursos Naturales Renovables y Turismo de la Pcia. de Misiones (MERNRYT).

| Resumen del Proyecto | | Indicadores | Medios de Verificación | Supuestos importantes |
|---|--|---|--|-----------------------|
| <p><OBJETIVO SUPERIOR> Se fortalecen las capacidades de gestión sobre biodiversidad de la Selva Atlántica Interior</p> <p><OBJETIVO ESPECÍFICO DEL PROYECTO> Se fortalece al Ministerio de Ecología, Recursos Naturales Renovables y Turismo como un ente generador y proveedor de información sobre biodiversidad de la Pcia. de Misiones.</p> <p><RESULTADOS> 1. Se mejoran las capacidades de generación, recolección y organización de información sobre biodiversidad 2. Se mejoran las capacidades para el acceso a la información sobre biodiversidad 3. Se mejoran las capacidades sobre extensión</p> | <p>Número de programas implementados en el marco de la Estrategia Provincial de Biodiversidad</p> <p>El Sistema de Información de Biodiversidad implementado al finalizar el proyecto</p> <p>1.1. Número de dependencias que remiten fichas obtenidas en terreno 1.2. Número de personal capacitado 1.3. Número de eventos de capacitación 1.4. Número de convenios firmados con otras instituciones 2.1. Número de consultas a la base de datos 3.1. Número de personas que recibieron información de biodiversidad 3.2. Número de eventos educativos en área piloto</p> | <p>Informe de los Programas</p> <p>- Informe final del proyecto - Entrevistas</p> <p>- Estadística de las fichas recibidas - Informe de avance del proyecto - Entrevistas</p> | <p>La información provista por el proyecto es incorporada en las decisiones políticas</p> <p>El personal capacitado permanece en la institución Las técnicas desarrolladas son aceptadas por las autoridades</p> | |
| <p><ACTIVIDADES> 1. Adecuar el software para la base de datos 2. Establecer un circuito explícito y centralizado de la información 3. Crear la base de datos 4. Establecer un mecanismo de vinculación y cooperación con instituciones científicas y educativas, públicas y privadas 5. Capacitar al personal de la institución en generación, recolección y organización de información 6. Evaluar y monitorear el programa de capacitación 7. Determinar los puntos estratégicos (como oficinas locales del MERNRYT) de acceso a la información 8. Consensuar el medio adecuado para la divulgación de la información 9. Dotar a los puntos estratégicos y a las áreas protegidas de un sistema de comunicación 10. Capacitar en el uso de la base de datos (modo de acceso) 11. Evaluar y monitorear el programa de capacitación 12. Revisar y adecuar el programa de extensión sobre la base de la información de biodiversidad 13. Capacitar en actividades de extensión al personal 14. Implementar el programa de extensión como experiencia piloto en Parque Pcial. Pto. Península 15. Evaluar y monitorear el programa de extensión</p> | <p>ARGENTINA</p> <p>(1) Personal del Proyecto</p> <p>1) Director: Subsecretario de Ecología y Desarrollo Sustentable 2) Coordinador: Director General de Ecología y Calidad Ambiental 3) Contraparte Personal</p> <p>a. Personal de Dirección de las Áreas Naturales Protegidas b. Personal de Dirección de Biodiversidad c. Personal de Departamento de Educación Ambiental</p> <p>(2) Facilitades: Tierras, instalaciones y edificios necesarios, maquinaria, equipo, instrumentos, vehículos, herramientas, repuestos y todo otro material necesario Otros: Personal de administración y gastos administrativos y de mantenimiento necesarios</p> | <p>JAPÓN</p> <p>(1) Expertos (Corto Plazo)</p> <p>Se enviarán los expertos que en el corto plazo en con las siguientes especialidades.</p> <p>- Sistema de Información de Biodiversidad - Manejo de las Áreas Naturales Protegidas - Educación Ambiental</p> <p>(2) Equipamiento y materiales necesarios (3) Capacitación técnica en Japón (4) Coordinador administrativo local</p> | <p>El personal contraparte permanece trabajando en las actividades del proyecto El Ministerio continuará otorgando el presupuesto asignado para las actividades del proyecto</p> <p><CONDICIONES PREVIAS> Diagnóstico situacional de las áreas involucradas</p> | |

Avanza el proyecto Cabureí con cooperación japonesa

Finalizada la primera etapa del programa de la Agencia de Cooperación Internacional de Japón -JICA- en Misiones, en el marco de un convenio con el Ministerio de Ecología y Turismo, se comienzan a proyectar nuevas actividades. El proyecto Cabureí constituyó la primera parte.



Mitshuro Watanave es recibido por Luis Jacobo, Walter Cattáneo y Esteban Arzamendia.

El ministro de Ecología Luis Jacobo se reunió con Mitshuro Watanave de la JICA en Misiones para empezar a planificar el desarrollo del nuevo proyecto con la agencia japonesa.

El trabajo se focalizaría en la zona norte de la provincia, tomando como base el parque Provincial Puerto Península para realizar el plan de manejo de de esta área protegida y potenciar el lugar para las relaciones con las regiones vecinas de Brasil y Paraguay.

En el inicio se realizarán talleres donde se redactará un documento base para comenzar a trabajar. La Agencia Española para la Coepración -AECI- y el Eden Project de Gran Bretaña también se incorporarían en el proyecto.

Esta decisión de la JICA de continuar en Misiones resulta de la experiencia positiva que obtuvo en la primera etapa.

Japoneses se focalizarán en zona norte de Misiones

Tomarán como base el Parque Puerto Península para realizar plan de manejo de esta área y potenciarlo para las relaciones con las regiones vecinas.

Finalizada la primera etapa del programa de la Agencia de Cooperación Internacional de Japón -JICA- en Misiones, en el marco de un convenio con el Ministerio de Ecología, Recursos Naturales Renovables y Turismo, se comienzan a proyectar nuevas actividades.

El Proyecto Cabure-í constituyó la primera parte.

El ministro de Ecología Luis Jacobo se reunió con Mitshuro Watanave de la JICA en Misiones para empezar a planificar el desarrollo del nuevo proyecto con la agencia japonesa.

Y el nuevo trabajo se focalizaría en la zona norte de la provincia, tomando como base el Parque Provincial Puerto Península para realizar el plan de manejo de de esta área protegida y potenciar el lugar para las relaciones con las regiones vecinas de Brasil y Paraguay. En el inicio se realizarán talleres donde se redactará un documento base para comenzar a trabajar. La Agencia Española para la Cooperación -AECI- y el Eden Project de Gran Bretaña también se incorporarían en el proyecto. Esta decisión de la JICA de continuar en Misiones resulta de la experiencia positiva que obtuvo en la primera etapa.

Cabe recordar que el Proyecto Cabure-í que se ejecutó conjuntamente entre la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (JICA), el Ministerio de ecología, Recursos Naturales Renovables y Turismo de Misiones, la Administración de Parques Nacionales y la Municipalidad de Andresito, con la cooperación técnica y financiera de la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (JICA), busca mejorar la relación del hombre con la selva a través de la capacitación, el acceso a la información, la educación ambiental y la búsqueda de alternativas económicas sostenibles.

Para lograr este último objetivo se implementó un Proyecto Piloto de Ecoturismo, cuya meta principal es desarrollar experiencia en el negocio del ecoturismo, visto como una oportunidad dada la cercanía a las Cataratas del Iguazú, uno de los destinos más visitados de América del Sur.

Por Paola Padilla

<http://www.territorioidigital.com/nota.aspx?c=7739793130658201>

TerritorioDigital.com.ar

Lunes 3 de Diciembre de 2007 - 18:30 hs.

Ecología

Firmarán un convenio de cooperación con la JICA

Mañana, 4 de diciembre a las 9.30 horas, en la sede de Posadas del Ministerio, se firmará un convenio de cooperación técnica con la Agencia de Cooperación Internacional del Japón -JICA-.

El acuerdo se concreta en función del Proyecto de Fortalecimiento de las Capacidades en Conservación de la Biodiversidad de la Selva Atlántica Interior. Por la JICA firmará el jefe del equipo del estudio preparatorio Juan Carlos Yamamoto y por el Ministerio su titular Luis Jacobo.

El objetivo principal es fortalecer la gestión sobre la biodiversidad de Misiones, a través de la implementación de programas específicos.

La Matriz de Diseño del Proyecto -MDP- fue diseñada por técnicos del Ministerio de Ecología y de la JICA en una serie de reuniones y talleres realizados al efecto



click en la imagen para ampliar
Luis Jacobo. Ministro de Ecología

Firmarán convenio en favor de la Biodiversidad de Misiones

Hoy martes a las 9:30, en el Ministerio de Ecología y Turismo se firmará un convenio de cooperación técnica con la Agencia de Cooperación Internacional del Japón -JICA. El acuerdo se concreta en función del proyecto de Fortalecimiento de las Capacidades en Conservación de la Biodiversidad de la Selva Atlántica Interior.

Por la JICA firmará el jefe del equipo del estudio preparatorio Juan Carlos Yamamoto y por el Ministerio, su titular Luis Jacobo.

El objetivo principal es fortalecer la gestión sobre la biodiversidad de Misiones, a través de la implementación de programas específicos.

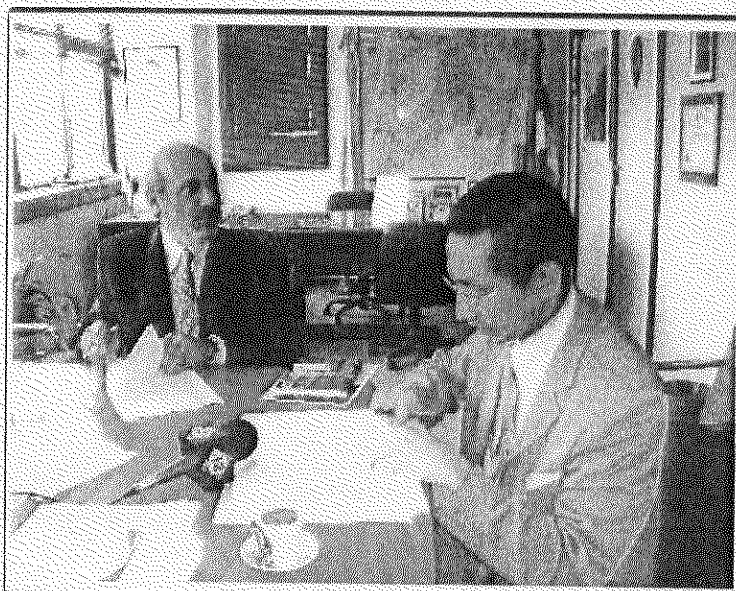
La Matriz de Diseño del Proyecto -MDP- fue diseñada por técnicos del Ministerio de Ecología y de la JICA en una serie de reuniones y talleres realizados al efecto.

Por Paola Padilla



Agencia de Cooperación del Japón aportará para conservación de la Biodiversidad

El Ministerio de Ecología y Turismo firmó esta mañana un convenio de cooperación técnica con la Agencia de Cooperación Internacional del Japón -JICA. El acuerdo se concreta en función del proyecto de fortalecimiento de las capacidades en conservación de la Biodiversidad de la selva Atlántica interior.



Por la JICA estuvo presente el jefe del equipo del estudio preparatorio, Juan Carlos Yamamoto y por el Ministerio, su titular Luis Jacobo.

El objetivo principal es fortalecer la gestión sobre la biodiversidad de Misiones, a través de la implementación de programas específicos.

La matriz de diseño de la agencia japonesa prestará servicios a través de sus expertos y proveerá maquinaria, equipos y otros materiales para la implementación del proyecto.

El Ministerio tendrá a su cargo la administración del proyecto, las cuestiones técnicas, el cuidado del material, instrumentos y otras herramientas para el trabajo. La evaluación del proyecto se efectuará de manera conjunta.

La JICA renueva con este programa su actividad en Misiones, luego de la experiencia realizada en Andresito, considerada altamente positiva por la representación japonesa en Argentina.

ACUERDO FUE CON EL MINISTERIO DE ECOLOGÍA Y TURISMO DE MISIONES

Firmaron convenio de cooperación con Jica

El Ministerio de Ecología, Recursos Naturales Renovables y Turismo firmó ayer por la mañana un convenio de cooperación técnica con la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (Jica).

El acuerdo se concretó en función del proyecto de fortalecimiento de las capacidades en conservación de la Biodiversidad de la selva Atlántica interior.

Por la Jica estuvo presente el jefe del equipo del estudio preparatorio Juan Carlos Yamamoto y por el Ministerio su titular Luis Jacobo. El objetivo principal es fortalecer la gestión sobre la biodiversidad de Misiones, a través de la instrumentación de programas específicos. La matriz de diseño de la agencia japonesa prestará servicios a través de sus expertos y proveerá maquinaria, equipos y otros materiales para la ejecución del proyecto.

El Ministerio tendrá a su cargo la administración del proyecto, las cuestiones técnicas, el cuidado del material, instrumentos y otras herramientas para el trabajo. La evaluación del proyecto se efectuará de manera conjunta.

La Jica renueva con este pro-

grama su actividad en Misiones, luego de la experiencia realizada en Andresito, considerada altamente positiva por la representación japonesa en Argentina.

Cabe recordar que el Proyecto Cabure-í que se ejecutó conjuntamente entre la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (Jica), el Ministerio de Ecología, Recursos Naturales Renovables y Turismo de Misiones, la Administración de Parques Nacionales y la Municipalidad de Andresito, con la cooperación técnica y financiera de la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (Jica), busca mejorar la relación del hombre con la selva a través de la capacitación, el acceso a la información, la educación ambiental y la búsqueda de alternativas económicas sostenibles. Para lograr este último objetivo se instrumentó un Proyecto Piloto de Ecoturismo, cuya meta principal es desarrollar experiencia en el negocio del ecoturismo, visto como una oportunidad dada la cercanía a las Cataratas del Iguazú, uno de los destinos más visitados de América del Sur.

Japón colaborará en la gestión en Biodiversidad

El Ministerio de Ecología de la Provincia firmó ayer un convenio de cooperación técnica con la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (JICA). El acuerdo se concreta en función del proyecto de fortalecimiento de las capacidades en conservación de la Biodiversidad de la selva Atlántica interior.

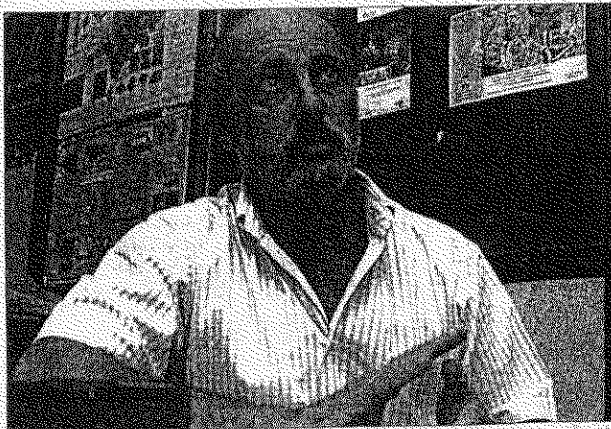
Por la JICA estuvo presente el

jefe del equipo del estudio preparatorio, Juan Carlos Yamamoto y por el Ministerio, su titular Luis Jacobo. El objetivo principal del acta firmada ayer es fortalecer la gestión sobre la biodiversidad de Misiones, a través de la implementación de programas específicos.

La matriz de diseño de la agencia japonesa prestará servicios a través de sus expertos y proveerá maquinaria, equipos y otros materiales para la instrumentación del proyecto. El Ministerio tendrá a su cargo la administración del proyecto, las cuestiones técnicas, el cuidado del material, instrumentos y otras herramientas para el trabajo. La evaluación del proyecto se efectuará de manera conjunta.

La JICA renueva con este programa su actividad en Misiones, luego de la experiencia realizada en Andresito, considerada altamente positiva por la representación japonesa en Argentina.

FOTO ARCHIVO: SERGIO ALVAREZ



Juan Carlos Yamamoto, jefe del equipo del estudio preparatorio de la JICA.

